

# 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場対策 についての県からのお知らせ 9月号

平成19年9月1日  
宮 城 県  
発行：竹の内産廃処分場対策室  
電話：022-211-2691

県政の推進につきましては、日ごろ格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
処分場におきましては、施設の定期的な保守管理だけでなく、水質調査や硫化水素等のモニタリングを実施し、周辺環境への影響の有無について確認しております。

## 【 今月号でお知らせする内容 】

- 1 健康相談会の御案内（9・10月）について
- 2 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場生活環境影響調査評価委員会の概要について
- 3 硫化水素モニタリングの結果（7月）について
- 4 アレルギー専門医による健康指導及び健康相談の結果について
- 5 避難用住宅の利用について

作業のお知らせ  
9月は、処分場の大気環境調査を(財)日本環境衛生センターが実施します。

## 1 健康相談会の御案内について

### (1) 開催日時

- [ 9月・第1回 ] 9月 6日(木) 午後1時30分から3時30分まで  
[ 9月・第2回 ] 9月27日(木)  
[ 10月・第1回 ] 10月 4日(木)  
[ 10月・第2回 ] 10月18日(木)

### (2) 開催場所

村田町沼辺地区公民館

### (3) 実施内容

医師、保健師等による問診を行います。また、希望があれば内科診察を行います。

### (4) 申込方法

- ・健康相談を希望される方は、開催日の前々日午後5時15分までに、下記の専用電話までお申し込みください。  
なお、事前申込み者がいない場合には中止とさせていただきますので、御了承ください。
- ・相談時間は、お申し込み順に調整します。
- ・相談会の実施方法について、御意見・御希望がありましたら、専用電話に御連絡願います。

### (5) 問い合わせ先

仙南保健福祉事務所 健康相談等専用電話 0224-53-1520  
受付は、午前8時30分から午後5時15分まで。(ただし、土・日、祝日を除きます。)

## 2 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場生活環境影響調査評価委員会の概要について

先日、村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場の周辺地域の生活環境に及ぼす影響に関する調査の方法及びその調査結果の評価に関し調査審議するための評価委員会が開催されました。その概要は次のとおりです。

### (1) 日 時

平成19年7月27日(金)午後3時から

### (2) 概 要

- イ 評価委員会の概要及びスケジュールについて
- ロ 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場の現状について
- ハ 工事期間中のモニタリング計画について

### (3) 評価委員

伊藤副知事から、次の10人の方に委嘱状が交付されました。また、委員の互選により、委員長は須藤隆一氏に、副委員長は細見正明氏と藤巻宏和氏にそれぞれ就任していただくことになりました。

氏 名	所 属	備 考
稲 森 悠 平	福島大学理工学群 共生システム理工学類教授	廃棄物
井 上 千 弘	東北大学大学院環境科学研究科教授	土壌汚染
岡 田 誠 之	東北文化学園大学大学院 健康社会システム研究科教授	悪臭・大気
風 間 基 樹	東北大学大学院工学研究科教授	工学
佐 藤 正 隆	住民代表	町推薦
澤 野 一 弘	村田町町民生活課長	町推薦
須 藤 隆 一	宮城県環境審議会会長 埼玉県環境科学国際センター総長	水質
田 村 俊 和	立正大学地球環境科学部教授	水理地質
藤 巻 宏 和	東北大学大学院理学研究科教授	町推薦
細 見 正 明	東京農工大共生科学技術研究院 生存科学研究拠点教授	廃棄物

(五十音順、敬称略)

### (4) 評価委員の意見

評価委員から、「工事に伴いガスが発生した場合の対策を講じておくこと」「廃棄物層を掘削するのか」「現場に来てもらいたい」等の意見がありました。

### (5) その他

宮城県のホームページに議事録等を掲載する予定です。  
URLアドレスは <http://www.pref.miyagi.jp/takenouchi/> です。

### (6) 問い合わせ先

竹の内産廃処分場対策室 電話022-211-2691

《裏面につづきます》

### 3 硫化水素モニタリングの結果（7月）について

- (1) 測定期間  
平成19年7月1日（日）から7月31日（火）
- (2) 測定地点  
3地点で測定しました。
  - ・測定地点1（発生ガス処理施設付近）
  - ・測定地点2（処分場東側敷地境界）
  - ・測定地点3（村田第二中学校）
- (3) 測定結果  
測定した結果は次のとおりです。



	硫化水素の最大濃度（ppm）	認知閾値濃度* 超過回数（回）	全測定回数**（回）
測定地点1	0.025	83	34,261
測定地点2	0.005	0	60,855
測定地点3	0.015	138	89,136

- \* 認知閾値濃度：硫化水素のにおいであることがわかる弱いにおい(0.006ppm)。
- \*\* 全測定回数は、機器点検等による欠測を除いたもの。なお、機器故障のため、測定地点1は7月15日から7月31日まで、測定地点2は7月15日から7月24日まで欠測。
- (4) その他  
台風4号に伴う降雨により硫化水素連続測定装置が故障したため、7月のモニタリングのデータが一部欠測したことについては先月号でお知らせしたところですが、復旧作業の進捗状況は次のとおりです。
  - ・測定地点1：復旧作業中。
  - ・測定地点2：7月25日に復旧済。
 なお、装置が復旧するまでの間、県職員等が週3回処分場内を巡回して点検するとともに、測定地点において検知管を用いて硫化水素を測定し、安全を確認します。
- (5) 問い合わせ先  
竹の内産廃処分場対策室 電話022-211-2691

### 4 アレルギー専門医による健康指導及び健康相談の結果について

7月22日（日）に村田第二小学校体育館において、アレルギー等の専門医である、かきたこども&アレルギークリニック院長・角田和彦先生による健康指導及び健康相談会を開催しました。

健康指導としての講話「環境化学物質の影響を軽くする食生活」には15名の方々が参加され、食材等に含まれる化学物質の人体への影響などについてのお話が続いて、参加者との質疑応答がありました。

また希望された9名の方に対し行われた健康相談では、角田先生から個別に健康管理や生活上のアドバイスなどをいただきました。

（問い合わせ先）疾病・感染症対策室 特定疾患班 電話022-211-2636

### 5 避難用住宅の利用について

- (1) 避難住宅  
次の住宅（2戸）を確保し対応しております。  
所在地：名取市名取が丘四丁目13番  
住宅名：名取が丘四丁目県営住宅 2号棟 [304号、403号]
- (2) 申込方法  
鍵の管理については、次の住民の代表の方をお願いしておりますので、御利用に当たります場合は、こちらにお申し込み願います。  
申込先：村田町沼辺字赤沼163-5 岡久（おか ひさし）様  
0224-83-4021
- (3) 問い合わせ先  
仙南保健福祉事務所 健康相談等専用電話 0224-53-1520  
受付は、午前8時30分から午後5時15分まで。（ただし、土・日、祝日を除きます。）

### トピックス - 多機能性覆土とは -

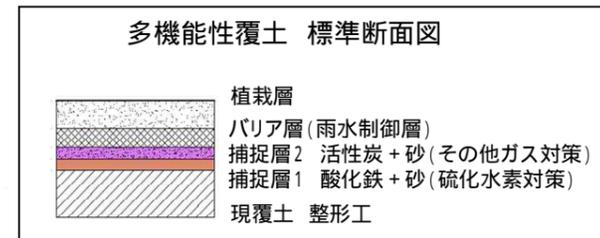
多機能性覆土とは、雨水浸透の制御や発生ガスの吸着など、複数の能力を併せ持った覆土のことで、植栽層、バリア層、捕捉層で構成されています。

植栽層は、地表面を保護するものであり、道路工事で発生した建設発生土などに植物を植えたものです。

バリア層は、雨水の浸透を抑制するものです。このことにより、捕捉層が保護され、また、地下水位の上昇により、地下の発生ガスが急激に押し上げられることが低減されます。

捕捉層は、硫化水素などの発生ガスを捕捉し、地表面への放散を防止するものであり、酸化鉄と活性炭にそれぞれ砂を混合した2段階の層から構成されます。地中で発生した硫化水素のガスは、酸化鉄の層で捕捉され、硫化鉄の結晶になるため、地表面に放散することはありません。また、ベンゼン等のガスは、活性炭の層で捕捉し、地表面への放散を防止します。

多機能性覆土は、処分場の地中において、覆土層と廃棄物層との境界面で比較的高い濃度の硫化水素が確認された場所への設置を検討しています。



\*\*\*\*\*

平成19年7月19日に開催された住民説明会において、「県からのお知らせについては字を大きくしてほしい」との御意見がありましたので、さっそく反映いたしました。また、御質問がありました多機能性覆土についても、解説させていただきました。  
今後とも御意見等をよろしく願います。